

★中学校部活動等の地域移行に向けた取組を検討しています！

◎部活動の地域移行って…何？

中学校部活動を地域の文化・スポーツ団体が行う活動に移行するなど、**子どもたちの多様な活動を体験できる機会**や**将来にわたってその活動を継続して取り組む環境**の整備を進めるものです。

国の方針では、令和8年度までに中学校での休日の部活動を、順次、地域移行するように提案されています。

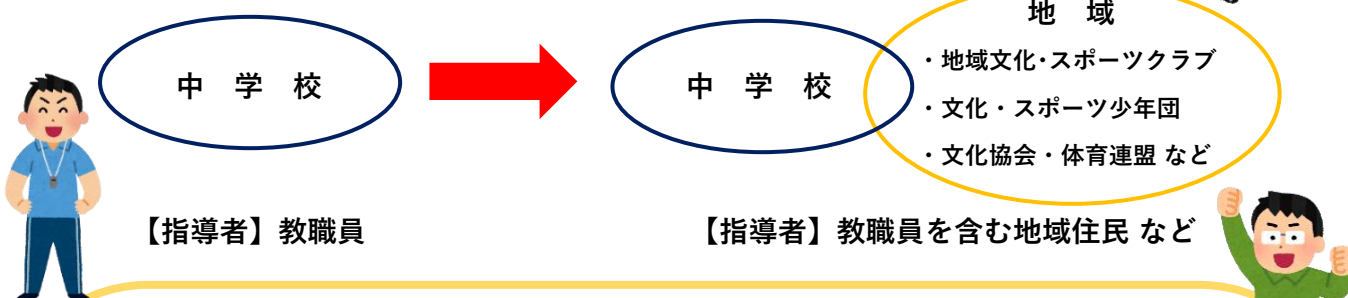
大樹町では、平日、休日を問わず、小学校から高校まで一貫した文化・スポーツ活動を行えるように、地域クラブ活動のモデル事業、人材バンクの整備など環境を整えられるよう検討を進めています。

※なお、令和8年度以降に中学校の部活動がなくなるわけではありません。



(現行)

(改定後)



◎部活動の問題点…

●少子化・ニーズの多様化

少子化が進み、生徒数が減少する中、今後、部活動の維持が困難となり、生徒がやりたい文化・スポーツ活動が選べない状況となりつつあります。

●教職員の負担軽減

これまでの部活動は、教職員の平日、休日における部活動指導によって、長時間勤務など業務負担が問題とされています。



➡ **問題解決には…**

少子化による生徒数減少によって、中学校単独での文化・スポーツ活動が困難となることから、広域での活動を可能とする対応が必要となります。

また、教職員の部活動指導の緩和のため、地域文化・スポーツクラブによる活動の移行や指導体制等の見直しを進める必要があります。

※ただし、教職員による文化・スポーツへの指導について、部活動から地域文化・スポーツクラブによる地域移行後は、教職員の兼業・兼職の認可により、これまで同様に指導を行うことは可能です。

◎部活動を地域移行にすると・・・

●メリット

- ・子どもたちの「チャレンジしたい！」という活動の選択肢が増えます。
1人の生徒による複数の文化・スポーツ活動の選択が可能となります。
- ・学校活動以外での交流が生まれます。
- ・地域の文化・スポーツ活動の活性化に期待ができます。
- ・教職員の長時間勤務の緩和によって、学校教育の質の向上が図られます。
- ・専門的な指導を受けられることも可能となります。



※「課題」もあり、今後、検討が必要です！

- ・地域での指導者等の発掘、確保が必要です。
- ・広域での文化・スポーツ活動による活動場所への移動の検討が必要です。
- ・学校と地域との連携（指導体制、方法など）が必要です。
- ・地域文化・スポーツクラブの活動費用の負担の検討が必要です。



部活動地域移行に向けて・・・
検討・協議をする場

◎部活動等の地域移行を目指して・・・

令和5年6月、学校、PTA、スポーツ少年団、体育連盟、文化協会などの代表による「大樹町部活動等地域連携推進協議会（事務局：大樹町教育委員会）」を発足しています。

これまで、小学5・6年生、中学生、高校生の他、その保護者と教職員への部活動等の地域移行アンケートの実施の他、部活動等地域移行の在り方に係る方針決定の3回の会議を行っております。

方針決定により、令和6年度は、人材バンクの整備、地域移行に向けたモデル部活動の実施などについて検討を進めます。

なお、令和7年度以降の計画内容は以下のとおりです。



●計画内容

令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ○運営団体発足～具体的運営、地域部活動指導体制の確立 ○モデル事業の検証、部活動移行の具体化 ○広報活動～地域移行の進捗状況 ○広域部活動の具体的検討 ○指導体制の拡充～外部委託、WEB指導の検討
令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> ○地域クラブスタート（可能な競技から） ○競技種目の拡大 ○広域部活動の体制構築 ○広報活動～地域移行の進捗状況 ○指導体制の拡充
令和9年度～	<ul style="list-style-type: none"> ○地域クラブ運営体制の検証 ○人材バンクの更新 ○その他、地域クラブに必要な事項

【お問い合わせ】 〒089-2136

住所 広尾郡大樹町双葉町6番地1 電話 (01558) ⑥ - 2133

担当 大樹町教育委員会 社会教育課社会体育係